

注意:当該情報は更新時点における情報です。最新情報は排出事業者が自らの責任として確認をしてください。

様式2号

排出事業者情報

新規登録・更新日 令和 年 月 日

会社名 河北新報印刷株式会社 事業所名称 _____

所在地 〒 980-3206

仙台市泉区明通三丁目13番

TEL: 022-777-3880 FAX: 022-777-3890

Webサイト _____

連絡先

会社概要

河北新報印刷株式会社は2002年3月1日に設立し、モアページ、モアカラー化に対応するための印刷拠点として、泉パークタウン工業流通団地内に建設しました。印刷センターには輪転機が4セット導入され、2003年12月31日に本格稼働を開始、東北の代表である「河北新報」をはじめ、「朝日新聞」や「聖教新聞」「公明新聞」などを受託印刷しています。

2022年10月、約20年使用してきた輪転機を三菱重工機械システム製の「ダイヤモンドスピリット」に全面更新しました。「ダイヤモンドスピリット」は省エネ・環境配慮型輪転機で最大40ページ、16か面カラーの新聞を時速16万部で印刷できます。

建物は免震構造を採用しており、2011年3月11日の東日本大震災でも被害はなく新聞印刷を続けました。「環境に優しく、地域に貢献」を目標に、日頃から環境負荷の軽減や省エネ原材料の使用、作業廃棄物回収、リサイクルシステムの確立に積極的に取り組んでいます。

全景・外観



代表商品



免震装置

河北新報の印刷拠点として災害時にも対応できるように、総重量4万8000トンの建物と地盤の間に120個の免震装置を設置し、地盤の揺れを吸収させて建物に揺れを伝えにくくしています。また、停電時のバックアップ用として、「無停電電源装置」と「自家発電機」を備えており、災害時での新聞発行・印刷を可能にしています。



注意: 当該情報は更新時点における情報です。最新情報は排出事業者が自らの責任として確認をしてください。

環境配慮の取り組み

3Rの取り組み

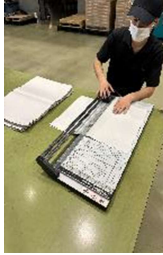
①リデュース

・白損の再利用

白損（印刷する前に発生する新聞用紙）を裁断し、手を拭く紙タオルとして使用しています。その後、古紙回収業者によりリサイクルされます。

・油清浄機

輪転機で使用する潤滑油の高清浄を長期継続維持し、潤滑油の劣化速度を制御させることで廃油量を大幅に削減しています。



②リユース

・裏紙の再利用

使用済用紙の裏面を社内文書に利用し、用紙の削減に努めています。

・レンタルウエスの利用

使い捨てウエスから繰り返し使用できるレンタルウエスへ切り替えました。さらにレンタルウエスを段階的に分別し、作業用途に合わせ使用しています。



③リサイクル 使用済み刷版 損紙 廃油 廃プラ

・印刷センターでは1日（朝夕刊印刷など）約80本の巻き取り紙を使用します。この巻き取り紙は、回収された古新聞からインキを抜いた脱墨パルプ（DIP = De-inked Pulp）を配合した用紙です。さらに新聞印刷時、大量の損紙（商品にならない新聞）が発生します。環境管理の観点から全損紙の回収を徹底し、損紙対策委員会を設置して「データの収集・分析」「問題点の整理」などを行いながら損紙削減に努めています。

・その他の印刷工程で使用される刷版についても、全てを回収してリサイクルを行っています。産業廃棄物の削減では、「分ければ資源、混ぜればゴミ」を合言葉にゴミ分別表を掲示し、徹底を図っています。



注意:当該情報は更新時点における情報です。最新情報は排出事業者が自らの責任として確認をしてください。

脱炭素に向けた取り組み

・LED照明の導入

天井灯の水銀灯や輸転機周り、各居室をLED照明に更新しました。天井灯のLEDは水銀灯に比べ、明るさも増し、消費電力も抑えられました。

・省エネ委員会による省エネ活動の推進

統括責任者をトップに企画推進員、管理員と続き委員22名で組織しています。会議では毎月の電力使用量を分析し様々な角度から省エネ活動を提案し、電力の削減に取り組んでいます。



その他環境活動

・大豆油インキ

新聞印刷では石油系溶剤を含んだインキを過去に使用していましたが、現在は環境保護を目的に、インキのVOC (Volatile Organic Compounds = 揮発性有機化合物) を低減するために使用する溶剤の一部を大豆油に置き換えたSoy Ink (大豆油インキ) を使用しています。

・氷蓄熱空調

電力消費の少ない夜間電力を使用して氷蓄熱槽に製氷し、蓄えた氷の冷熱で昼夜の空調設備に利用しています。

・雨水の利用

屋上で集めた雨水を雨水濾過装置で濾過した後に新聞配送トラックの洗車水、全館トイレ洗浄、屋外散水などに使用しています。年間約1.4 t の雨水を活用し、節水に大きく貢献しています。

